

# Veritas™ Cluster Server

## アプリケーションのダウンタイムを削減

Veritas Cluster Server (以下、VCS) は、計画的なダウンタイムと予定外のダウンタイムを削減する、先進的なクラスタリングソリューションです。アプリケーションの状態を監視し、障害発生時には自動的にフェールオーバーすることで、VCS はアプリケーションやデータベースの可用性を劇的に向上させます。

また、関連するデータベース、OS、ネットワーク、ストレージリソースなどを含め、アプリケーションやアプリケーションが依存するすべてのコンポーネントで発生した障害を検出することができます。障害が検出されると、VCS はアプリケーションの段階的なシャットダウンを実行し、使用可能なサーバー上で再び起動します。さらに、適切なストレージ機器へのデータアクセスパスを構築し、正常なオペレーションを再開します。

VCS は、アプリケーションやパッチなど、定期メンテナンスのためにプライマリサーバーをオフラインにする必要がある場合、一時的にスタンバイサーバーにアプリケーションを移動することができます。

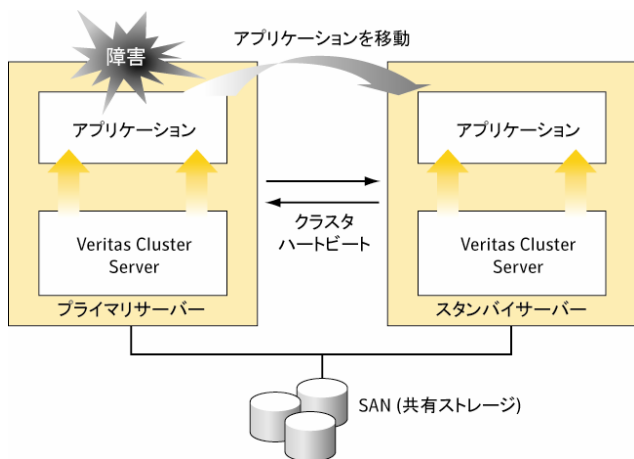


図 1. ミッションクリティカルなアプリケーションで障害が発生した場合、Veritas Cluster Server は関連するディレクトリ、ネットワーク、およびディスクグループリソースを含む、アプリケーションスタックを段階的にフェールオーバーします。

### ハイライト

- **幅広いハードウェアおよびプラットフォームのサポート**

複数のプラットフォーム上において同一のツールを使用することで、トレーニング費用、管理コストを削減できます。

- **ローカル/リモートを問わないアベイラビリティ**

DR (ディザスタリカバリ) とローカルアベイラビリティの実現のために、ローカルクラスタとリモートクラスタの両方を構築します。

- **DR テストの自動化**

プライマリ環境に影響を与えずに、フェールオーバーとレプリケーション設定の両方をテストします。

- **マルチクラスタ管理およびレポーティング**

複数のローカルおよびリモートクラスタを単一コンソールから管理して、レポートを生成します。

- **インストール、設定、およびメンテナンスが簡単**

ウィザードによるインストールとフェールオーバーのシミュレーションにより、インストールと管理が簡単に行えます。

- **主要なレプリケーション技術をサポート**

ディザスタリカバリのために主要なレプリケーション技術を使用できる、柔軟性を備えています。

- **高度なフェールオーバーロジック**

アプリケーションを最も適切なサーバーにフェールオーバーし、サーバーリソースができる限り効率的に使用されるようにします。

- **仮想マシンのサポート**

仮想マシンアーキテクチャにクラスタ環境を提供します。

### 幅広いハードウェアおよびプラットフォームのサポート

多くのクラスタソリューションでは、それをインストールするために全く同じハードウェアおよび OS 環境を用意する必要があり、クラスタ環境を構築するためのコストが別途かかる事も少なくありません。

VCS は、UNIX、Windows、Linux、またそれらの仮想プラットフォームを含む主要 OS をサポートし、また、ヘテロジニアスなハードウェア構成を幅広くサポートするソリューションです。VCS を使用することで、ハードウェアを追加購入することなく、既存のインフラにクラスタリング機能を追加できます。

また、複数のプラットフォーム上において同一のツールを使用することにより、トレーニング費用、管理コストを削減できます。

### ローカル/リモートを問わないアベイラビリティ

ローカルサイトでハイアベイラビリティなインフラを構築するには、ビジネスにおける多くのアベイラビリティ要件を満たさなければなりません。その一方で、複数のロケーションにまたがる、より優れたプロテクションという別の要件も存在することが考えられます。VCS は、単一でローカルクラスタとリモートクラスタの両方の機能を提供し、必要に応じた柔軟なクラスタ環境を構築することができます。これにより、ローカルデータセンターにあるシングルサーバーの間でアプリケーションを移行したり、数千キロ離れた所にあるデータセンターにすべてのアプリケーションを移行したりすることができます。

### DR テストの自動化

データセンターのサーバーやアプリケーションはつねに変化しているため、システムやサイト全体の稼働が停止した場合にリカバリが正常に行われるよう保証するためには、DR 環境を定期的にテストすることが重要です。DR 環境の動作を確実に保証できるように、VCS には Fire Drill という、DR テストを自動化し、テスト時間と費用を削減するツールが含まれています。

これにより、システム管理者は IT インフラを頻繁に変更し、それらの変更をリモートサイトにも同時に容易に反映させることができます。また、Fire Drill を使用しても、アプリケーションの稼働を妨げることはなく、必要に応じて何度でも実行できます。

### マルチクラスタ管理およびレポート

使用されるアプリケーションの数が増加し、ヘテロジニアスなクラスタ構成のサーバーが複数のデータセンターに分散している状況下での、クラスタ管理は容易ではありません。VCS のクラスタ管理コンソール (CMC) を使用すると、さまざまなプラットフォーム上の VCS 実装を、単一の Web ベースのコンソールから監視、管理、およびレポートできるようになります。VCS の管理機能によって、管理対象クラスタの可視性が高まり、グローバルなアプリケーションが一元管理され、各アプリケーションのアベイラビリティステータスが完全にレポートされるため、システム管理者の作業効率が向上します。VCS は、管理者によくあるクラスタ構成のミスを防ぎ、アプリケーションのダウンタイムを削減し、クラスタ構成の変更を監査します。また、クラスタ障害を検出および調査してすべての管理クラスタの管理履歴を追跡する方法を提供します。

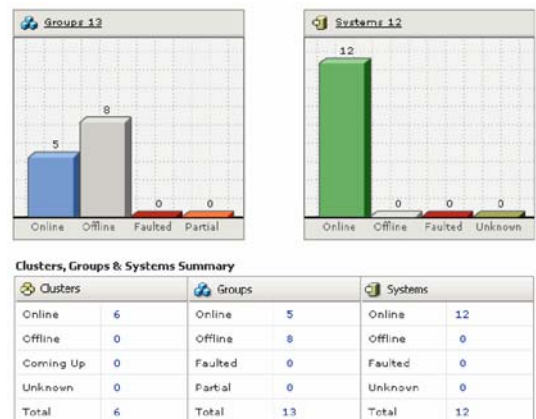


図 2. クラスタ管理コンソール (CMC) を使用して、データセンターの全クラスタのステータスを表示します。(画面は英語版のものを使用)

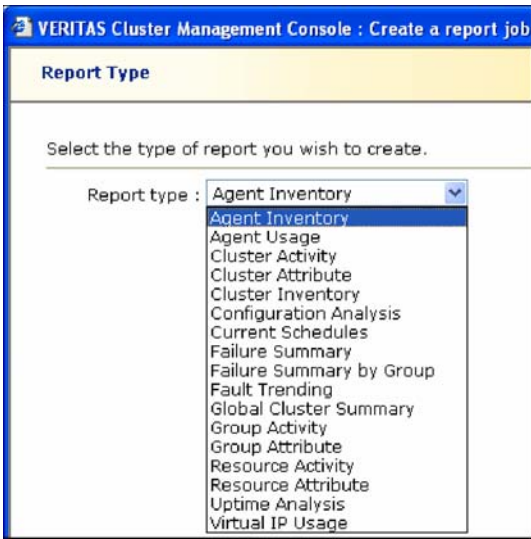


図 3. Veritas Cluster Server には、17 の事前定義レポートが用意されています。(画面は英語版のものを使用)

### インストール、設定、およびメンテナンスが簡単

VCS は、使いやすい設定ウィザードを管理者に提供し、ストレージ管理とクラスタの導入を容易にします。VCS の機能の 1 つである VCS Simulator を使用すると、クラスタの管理者はアプリケーションフェールオーバーにおけるシナリオのシミュレーションを行い、VCS に記憶させることができます。管理者は VCS Simulator により、ハイアベイラビリティ環境のシミュレーション実行やアプリケーションフェールオーバーの複数のテストを、稼働環境に影響を与えずに実行できるようになります。

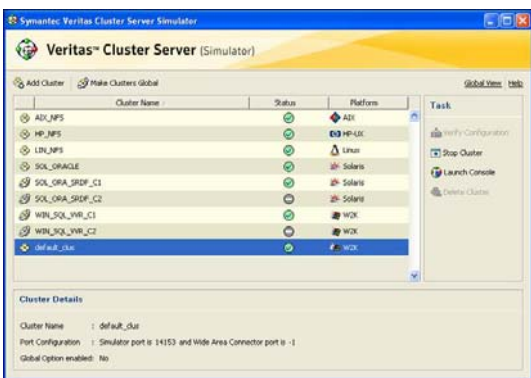


図 4. Veritas Cluster Server Simulator を使用すると、管理者はフェールオーバー時のシミュレーションを行うことができます。

### 主要なレプリケーション技術をサポート

適切なディザスタリカバリの計画には、データとアプリケーションの両方のアベイラビリティが含まれている必要があります。そのため、VCS では主要なハードウェアやソフトウェアベースのレプリケーション技術をサポートしています。VCS は、リモートサイトにおけるレプリケーション管理およびアプリケーション起動のプロセスを完全に自動化します。ストレージやアプリケーションの管理者が手動で複雑なリカバリ手順を実施する必要はありません。VCS では、同期または非同期のレプリケーション構成を制御するために必要なすべてのロジックが提供されます。

シマンテックが提供する Veritas Volume Replicator Option に加えて、VCS は、Hitachi TrueCopy、EMC SRDF、IBM Metro Mirror、IBM Global Mirror など、主要なデータレプリケーションソリューションをサポートしています。

### 高度なフェールオーバーロジック

VCS を使用すると、IT 管理者はサーバーに応じたフェールオーバーポリシーを設定することができます。その場合、VCS では、障害発生時にアプリケーションのニーズやクラスタ内のリソースのステータスに応じて、固有のアプリケーションに最適なサーバーをポリシーで設定された選択肢の中から選択します。フェールオーバーが発生すると、VCS は最も使用率の低いサーバーを自動的に選びます。サーバーが復旧した際には、選択肢として自動的に再登録されます。VCS に組み込まれている高度なフェールオーバーロジックによって、アプリケーションのアップタイムが最大に維持され、サーバーリソースはできる限り効率よく使用されます。

## 仮想マシンのサポート

仮想化技術を用いて、単一の物理サーバー上に複数の仮想環境が構築されることがよくあります。この物理サーバーで障害が発生すると、複数のアプリケーションの可用性が失われる可能性があります。その結果、仮想化技術を使用しつつ、可用性の高い環境を構築する必要性が高まっています。VCS は物理システムと仮想システムをともにクラスタ化する単一ソリューションを提供します。VCS では、システム管理者が仮想マシン内で実行中のアプリケーションを監視し、障害発生時にそれをリカバリすることができます。

## サポート対象 OS

- IBM AIX
- HP-UX
- Sun Solaris
- Red Hat Linux
- SUSE Linux
- Microsoft Windows \*

\* Veritas Storage Foundation for Windows HA 版、HA/DR 版として提供

## 製品に関する最新の情報

シマンテックの Web サイトをご覧ください。

[www.symantec.com/jp/sf](http://www.symantec.com/jp/sf)

Copyright © 2008 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec と Symantec ロゴは、Symantec Corporation または関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。製品の仕様/価格は、都合により予告なしに変更することがあります。本カタログの記載内容は、2008 年 2 月現在のものです。

## 株式会社シマンテック

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ  
[www.symantec.com/jp](http://www.symantec.com/jp)

お問い合わせ